

令和2年度 事業報告

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会



本会マスコットキャラクター

「ユ-カリ-ナ」

1 第4次地域福祉活動計画(第4次計画)の推進

「第4次計画」(計画期間:令和元年度から5年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各推進チームの会議は予定どおりの開催ができず、全体会議(5月・11月開催)は、1度も開催できませんでした。

また、たくさんの人が集まったのイベント・事業(ポッチャ大会、多世代交流事業、養成講座など)は、中止又は延期を余儀なくされました。

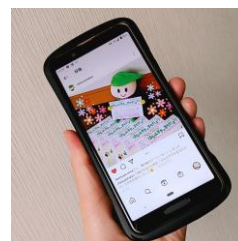
しかしながら、コロナ禍でも推進できる取り組みについては、推進委員のみなさまの協力のもと、以下のとおり実施することができました。

【3つの推進チームの主な取組状況】

(1)きっかけチーム

①「インスタグラム」の発信

学生や地域関係者などの声を聴きながら、週2回、各種福祉情報の発信などを始めました。インスタグラムを見た複数の企業や施設から事業連携の提案をいただくなど、大きな効果を得ました。



ユ-カリ-ナが大活躍のインスタ

②「福祉情報配置店」の設置

配置店は、今年度から取り組みを始め、区内のコミュニティセンターなど20か所が配置店として、協力いただけることとなりました。



区内ス-パ-の情報配置店

(2)ひとチーム

①「え〜ひと名鑑」の作成

地域で活躍する“え〜ひと”を集めた名鑑の作成に向け、掲載内容や活用方法などについて検討を重ねました。

(3)つながりチーム

①「つながり川柳」の募集

人とつながることの大切さを伝える川柳の募集(募集期間:令和3年度5月末まで)を開始しました。募集にあたっては、在宅サービスセンターをはじめ区役所、図書館、生涯学習センターなどの公所に応募箱を設置するとともに、地域団体等の会合に出向きPRに努めました。



区役所設置の応募箱

2 「地域福祉活動」の推進

- (1)「地域福祉推進協議会」(推進協)の取り組みに対し、学区担当職員(コミュニティーワーカー)を従前どおり配置し支援しました。また、推進協の第一線で活動する方々を対象とした研修会等は、コロナ禍で中止となりました。
- (2)「ふれあい給食サービス事業」は、コロナ禍で“会食”での実施は中止し、一部の学区は“配食”に切り替え、実施しました。また、給食関係者を対象とした研修会は、コロナ禍で中止となりました。
- (3)「地域支えあい事業」《市受託事業》は、新たな学区での取り組みを目指し、複数の学区関係者へ説明を行いました。従前から実施の4学区については、専門の担当職員と学区担当者が一丸となって支援する中で、担い手確保とさらなる事業PRのための広報グッズを作成しました。

また、ご近所ボランティアを対象とした研修会は、集合形式ではなく、コロナ禍における各学区の取り組みや取り組みのヒントなどを掲載した冊子を作成し、配付しました。



各学区の広報グッズ



配付した冊子

(4)「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」《市受託事業》では、サロン開設支援や運営助成金の申請支援などを行うとともに、「サロンマップ」の改訂、サロン関連情報を掲載した「サロン通信」を5回発行しました。また、サロン運営者の情報交換の場である「サロン☆サロン」は、コロナ禍で開催予定の5回すべて中止となりましたが、「サロン運営研修」は予定どおり開催しました。「地域包括ケア推進会議」と連携した「生活支援連絡会」は、3回開催予定のところ1回しか開催できませんでした。



サロンマップとサロン通信



サロン運営者研修(テーマ:新型コロナウイルス感染予防とサロン運営)

(5)「高齢者はつつ長寿推進事業」(はつつ事業)《市受託事業》は、コロナ禍で多くの期間、中止を余儀なくされる中、参加者に自宅で取り組んでもらうためのホームエクササイズ(なごや介護予防・認知症予防プログラム)や塗り絵はがきなどを郵送し、高齢者の見守りに努めました。また、一層の事業 PR に向け、子どもから祖父母へ参加を呼び掛けてもらうための冊子を「あいち造形デザイン専門学校」と協働で作成しました。



在宅サービスセンターに展示した参加者の塗り絵 87 点



マンガなどを取り入れた冊子

(6)「寝具クリーニングサービス事業」は、布団を干すことが困難な65歳以上のひとり暮らしの方などを対象に、民生委員のみなさまの協力のもと実施するとともに、花水木鯨城会などの協力のもと、子育てサロンや保育園



などへサンタクロースやトナカイを派遣する

子育てサロンでの「キラキラ☆サンタ事業」

「キラキラ☆サンタ事業」を行いました。

(7)「名古屋市いこいの家事業」は、言葉や心身の発達の遅れなどが気になる子どもとその保護者を対象に、千種児童館などで親子遊びや相談会などを行いながら、保護者の不安・悩み解消と保護者同士の仲間づくりに努めました。

(8)「福祉関係団体等」への支援として、共同募金配分金を使い、各種福祉活動へ事業助成を行うとともに、区内で活躍するボランティア団体などへ公開プレゼンテーションを行ったうえで事業助成する「ボランティア・NPO応援助成事業」を行いました。ただし、コロナ禍のため、公開プレゼンテーションは行わず、地域関係者や大学生など8名の審査員による書類審査により助成決定しました。

3 「ボランティア活動」の推進

(1)「ボランティアセンター」を運営し、ボランティア活動に関する各種相談をはじめ、需給調整、情報提供、部屋貸しなどを行うとともに、広報なごや千種区版の点訳・音訳に関し、各ボランティアグループへ機器貸し出しなどを行いました。また、「千種区ボランティア連絡協議会」と連携し、ボランティア同士の交流などを行う恒例の「ちくさだれでも広場」と「点訳ボランティア養成講座」はコロナ禍のため中止となりました。

(2)「福祉教育」については、ボランティア団体と連携し、小学校へ出向き、高齢者疑似体験、アイマスク体験などを行い、子どもたちの福祉に関する理解促進に努めました。

(3)「災害ボランティアちくさネットワーク」や区役所などと連携し、大規模災害時に設置される「災害ボランティアセンター」に関する定期的な協議を行いました。また、学校などに出向いての防災講話などを行うとともに、区民への啓発事業として、区役所あじさい広場で災害に関するパネル展示を行いました。



区役所へパネル展示(防災週間)



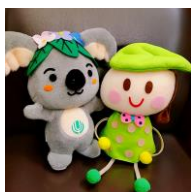
防災講話をする災害ボランティアのみなさん

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

(1)本会広報誌「はなみずきのまちだより」を3回発行し、各種福祉情報の発信に努めるとともに、新たに“私のまちの推進協”と題し、身近な地域での取り組みを知ってもらうための活動事例の掲載をはじめました。広報誌は、町内会・自治会のみなさまの協力のもと、学区の回覧版をはじめ、区役所、各学区のコミュニティセンター、「福祉情報配置店」などに配架しました。

(2)「ホームページ」は、常にタイムリーな情報掲載の発信に努めるとともに、「Instagram」での情報発信も積極的に行いました。

(3)本会マスコットキャラクター「ユーカーリーナ」を前面に出し、さまざまな場面で積極的なPRを行いました。各コミュニティセンターなどには、区役所マスコットキャラクター「こあらっち」のぬいぐるみの横に「ユーカーリーナ」のぬいぐるみ置いていただいたり、新たなグッズとして、ストラップやマスクなどを製作しました。



(4)「賛助会費」や「赤い羽根共同募金配分金」は本会が福祉活動を展開していく上で重要な財源であり、コロナ禍の大変厳しい状況の中、町内会・自治会のみなさまや民生委員のみなさまの協力をいただきながら財源の確保に努めました。また、赤い羽根共同募金の使われ方がわかりづらいとのご指摘を受け、専門学校に協力していただき、マンガを用いた冊子作成に取りかかりました。(令和3年度完成予定)

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

愛知県社会福祉協議会から業務を受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、離職者等に対し、民生委員のみなさまをはじめ、名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター、行政機関などと連携し、資金貸付と援助指導を行うことで、援助世帯の安定した生活基盤の確立を目指す生活福祉資金貸付事業を行いました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による休業や失業で生活に不安のある方々への緊急小口資金等の特例貸付業務を行いました。

6 「デイサービスセンター」の運営

利用される方々とそのご家族の生活の充実を図るため、通所介護事業を行いました。健康チェックをはじめ、入浴、昼食、レクリエーション、口腔ケア機能向上事業などを行いながら、利用者の自立した日常生活の維持・向上に努めました。また、昼食はボランティアグループ「はなみずき」の協力のもと、手作りにこだわった料理を提供しました。



愛情込めて調理いただくボランティアさん



レクリエーションを楽しむご利用者

7 「都福社会館・千種児童館」の管理運営 指定管理事業

名古屋市からの指定管理1年目として、管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、両館とも休館を余儀なくされた期間もありましたが、休館中においても、名古屋市の指示により、福社会館は、電話相談事業、児童館は、留守家庭児童健全育成事業は、休まず実施しました。

8 「名古屋市社会福祉協議会事業」への協力

名古屋市社会福祉協議会事業である「千種区西部いきいき支援センター」(地域包括支援センター)と「千種区介護保険事業所」と協力、連携しながら、千種区の地域福祉の向上に努めました。

主な事業の内訳

※() は昨年度実績

1 「第4次地域福祉活動計画」(第4次計画)の推進

チーム名	会議開催回数等	推進委員数
きっかけ	2回(7月、10月)	12人
ひと	3回(7月、10月、3月)	12人
つながり	3回(11月、12月、3月)	19人

2 「地域福祉活動」の推進

事業名	実施日	内訳等		
ふれあい給食サービス事業 【14学区で実施】	通 年	・実施回数:会食 2 回(50)、配食 41 回(57) ※講話後、弁当持ち帰り ・延参加者数:会食 105 名(2,413) 配食 3,911 名(5,061)		
地域支えあい事業 【4学区で実施】	通 年	学区	区分	実績等
		千代田橋 ※ボランティアポイント 2,174(5,197)	連絡会議	3 回(3)
			開設日数	93 日(98)
			生活支援	32 件(54)
			活動延人数	363 人(1,445)
		自由ヶ丘 ※ボランティアポイント 1,794(1,113)	連絡会議	3 回(2)
			開設日数	74 日(82)
			生活支援	10 件(2)
			活動延人数	351 人(365)
		富士見台 ※ボランティアポイント 1,365(1,689)	連絡会議	2 回(2)
			開設日数	103 日(103)
			生活支援	10 件(7)
			活動延人数	176 人(415)
		春 岡 ※ボランティアポイント 180(0)	連絡会議	0 回(1)
			開設日数	52 日(13)
			生活支援	5 件(0)
認定事業	1 事業(4)			
活動延人数	19人(0)			

事業名	実施日	内訳等
高齢者サロンの整備等 生活支援推進事業	通 年	サロン設置状況(把握件数) 90箇所(高齢47、共生24、子育て18、障害1) (89)
サロン相談支援	通 年	・相談件数 74件(新規:48件、継続26件) (177件 新規84、継続93) ・助成申請 開設助成 0件(4) 運営助成 41件(39)
サロン運営者研修	10/15	参加者:12人 講師:千種保健センター保健師
生活支援連絡会	9/17	委員数11人
高齢者はつらつ長寿推進 事業	通 年	8会場で前期(4~9月)・後期(10~3月)で開催。 「はつらつだより」を4回発行。 ・実施回数:148回(355) ・延参加人数:2,571人(6,902)
寝具クリーニングサービス事業	11月	155人(206人)
キラキラ☆サンタ事業	12月	子育てサロン等 10ヶ所、プレゼント配付数151個 (18ヶ所、597個)
名古屋市いこいの家事業	通 年	千種児童館週2日、守山児童館週1日開催 延参加者数:1,563人(2,054)
福祉関係団体等の支援 (赤い羽根共同募金財源) ※詳細は、赤い羽根データ ページはねっと」(URL http://hanett.akaihane.or.jp/)		・高齢者福祉活動(学区敬老事業、ふれあい給食事業) 【2,176,600円(23件)】 ・障がい児・者活動(手をつなぐ育成会等が行う事業) 【113,000円(3件)】 ・児童・健全育成活動(子ども会活動、保育園事業、学童 保育所の運営)【49,500円(1件)】 ・住民全般福祉活動(推進協事業) 【2,072,143円(16件)】 ※上記のほか、「ボランティア・NPO 応援助成事業」として ボランティア団体など3団体へ15万円助成。

3 「ボランティア活動」の推進

事業名	実施日	内訳等
ボランティアセンターの運営	通 年	・ボランティア相談 14 件(118) ・ボランティア登録 3,389 人(3,381) ・ボランティア活動保険 1,975 人(2,543) ・ボランティア行事用保険 8,060 人(16,436)
在宅サービスセンターの利用状況	通 年	・研修室 230 件、5,014 人(354 件、7,728 人) ・ボランティアルーム 322 件、2,766 人 (355 件、3,049 人) ・点訳室 59 件、70 人 (107 件、127 人) ・録音室 301 件、993 人(290 件、957 人) ・調理実習室 32 件、736 人(182 件、4RE,186 人)
福祉教育	通 年	実施校 2 校 延参加人数 284 人(8 校、979 人)

4 「広報活動」と「財政基盤強化」の推進

事業名	実施日	内訳等
広報誌の発行	7、11、 3 月	発行総数 21,900 部 (各号 7,300 部)
ホームページとInstagram	通 年	ホームページアクセス件数 13,739 件(3,800) Instagramフォロワー数 1,530
賛助会費 ※個人1口 500 円 法人・団体 1 口 5,000 円	通 年	・個人会員 2,652 人、1,987,500 円 (3,125 人、2,559,800 円) ・法人・団体会員 187 件、2,676,900 円 (200 件、2,383,300 円) <u>合計 4,664,400 円 (4,943,100 円)</u>
寄付金	通 年	16 件、1,284,456 円(13 件、686,677 円)
赤い羽根共同募金	10 月～ 12 月	・一般募金 9,803,415 円(9,473,574 円) ・歳末募金 1,117,700 円(1,079,229 円) <u>合計 10,921,115 円 (10,552,803 円)</u>

5 「生活福祉資金貸付事業」の実施

事業名	実施日等	内訳等
生活福祉資金貸付事業	通年	・相談件数 37件(121) ・新規貸付件数 2件 6,526,000円 (3件、700,000円) ・管理件数等 92件 64,079,789円 (102件、59,464,018円)
特例貸付事業 ※令和2年3月25日 から実施	通年	・緊急小口資金(貸付上限額:20万円) 1,900件 361,072,000円 ・総合支援資金(貸付上限額:単身月15万円、二人以上 月20万円。最大9ヶ月。) 1,069件 513,926,000円 ※上記の数字は、令和2年3月25日から令和3年 3月31日までの実績

6 「デイサービスセンター」の運営

通所介護事業			
介護保険サービス		要介護5	184人(323)
		〃 4	128人(210)
		〃 3	879人(539)
		〃 2	1,919人(2,099)
		〃 1	1,704人(1,565)
		要支援2	737人(895)
		〃 1	164人(232)
介護予防・生活支援サービス	予防専門型通所	事業対象者	83人(50)
	ミニデイ型通所	〃	0人(0)
		延利用人数	5,798人(5,913)

7 「都福祉会館・千種児童館」の管理運営

(1) 都福祉会館

福祉会館の管理・運営					
・年間開館日数 114日 (264)	個人利用		団体利用	合計	
	延人数		0人 (8,553)	1,216人 (22,464) (31,017)	
	内 訳	趣味講座等	1,045人(8,753)		
		交流会等	0人(4,216)		
		相談	10人(111)		
その他		161人(9,384)			
認知症予防事業【委託事業】					
事業名			延人数		
認知症予防教室 ※3クラス(1クラス定員7名)を半期ごと、週1回実施			305人(762)		
認知症予防リーダー養成講座 ※全8回のうち、5回(1クール定員5名)の講座を福祉会館が担当			13人(377)		
認知症予防リーダー派遣			派遣 12人(226) 参加 49人(1,453)		

(2)千種児童館

児童館の管理運営			
	内容区分	区分	延人数等
・年間開館日数 292日(289)	館内遊び場利用	幼児	7,156人(9,244)
		小学生	2,970人(7,675)
中学生		753人(1,853)	
高校生		169人(316)	
その他		7,049人(9,192)	
計		18,097人(28,280)	
・総利用人数 33,028人 (52,873)	団体利用(19団体)	回数	126回(239)
		延人数	1,356人(2,614)
健全育成事業 (行事、プチイベント)		回数	781回(652)
		延人数	4,596人(9,071)
館外事業 (移動児童館等)		回数	2回(15)
		延人数	102人(1,823)
クラブ活動(13クラブ)		開催回数	178回(175)
		延人数	4,746人(6,522)
留守家庭児童クラブ		延登録者数	292人(337)
		延人数	3,539人(4,097)
中学生の学習支援事業			
【委託事業】	区分	登録者数	延人数
	学習サポーター	11人(12)	317人(291)
	利用児童 (ひとり親世帯等の中学生)	12人(10)	390人(342)
高校生の学習継続支援事業等			
【委託事業】	区分	登録者数	延人数
	①高校生の学習継続支援 学習サポーター (中学生の学習支援と兼ねる)	11人(12)	104人(52)
	②家庭訪問型相談支援事業との連携 利用児童 (中学生の学習支援の卒業生)	6人(3)	202人(124)

8 「名古屋市社会福祉協議会」への協力

(1) 千種区西部いきいき支援センター(地域包括支援センター)への協力

事 項	実施日等	主 な 内 容
地域包括ケア 推進会議	6月 2月	保健・医療・福祉に関わる団体が、地域包括支援ネットワークを構築し、高齢者の支援を進めるための協議を行う。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
相談事業	通 年	総合相談・権利擁護 684件(895) 包括的・継続的マネジメント 286件(512)
介護予防支援、 介護予防ケアマ ネジメント(要支 援1・2、事業対 象者の介護予防 計画)	通 年	延利用者数 10,495人(10,753) ・いきいき支援センター作成分 3,136人(3,126) (要支援1:1,008人 要支援2:1,811人 事業対象者:317人) ・居宅介護支援事業者委託分 7,359人(7,627) (要支援1:2,073人 要支援2:4,950人 事業対象者:336人)
ケアマネサロン	6月19日 12月18日 2月19日 3月19日	ケアマネジメント支援業務の一環として居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にスキルアップとネットワークづくりを目的とした研修会および交流会を企画・実施。 【研修会内容】 ●認知症ケアパスの活用方法(6月) ●高齢者虐待防止について(12月) ●仕事・暮らし自立サポートセンターとの連携(2月) ●主任ケアマネ交流会(3月) 参加延人数143人(282)
医療講座(医療 と介護の連携)	3月12日	職員の資質向上に加え、他の介護関係事業所も交え、医療知識の向上や医師との顔の見える関係づくりを目的に、区内の医師を講師に招き、医療講座を開催。 於 在宅サービスセンター-他 参加延人数 26人(55)
学区小地域ケア 会議	7月 3月	ケアマネジャー、サービス事業者、関係団体、民生委員・児童委員、一般住民等による「地域包括支援ネットワークの構築」を目指して、小学校区を単位とした「小地域ケア会議」を開催。 高見学区(於 乗西寺) 2回(5) 参加延人数 20人(43)
見守り支援事業	通 年	・通 報 件 数 20件(16) ・電話、面接件数 748件(958) ・本人宅訪問延件数 137件(141) ・支援ネットワーク構築件数 26件(18)

介護予防・家族支援事業	通年	「認知症の家族教室」 ※新型コロナウイルス影響で全て中止
	年間	「家族サロン」 5回開催(11) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 27人(32)
	年間	「医師による専門相談」 7回開催(12) 於 在宅サービスセンター 参加延人数 8人(17)
	年間	「認知症サポーター養成講座」 8回開催(23) 於 在宅サービスセンター他 参加延人数 112人(487)
認知症初期集中支援チーム	年間	支援対象者29人(22) 支援状況 ・個別訪問 69回(63) ・本人及び家族との連絡 115回(145) ・来所相談 2回(8) ・関係機関との連絡 175回(183) ・チーム員会議開催 20回(20) ・チーム員会議で検討した延ケース数 95回(87)

(2)千種区介護保険事業所への運営協力

①訪問介護(なごやかヘルプ)事業

区分	延利用者数	派遣回数	延時間数
介護保険サービス(要介護・要支援)	1,202人 (1,373)	14,432回 (15,976)	15,826時間 (17,658)
予防専門型・生活支援型(事業対象者)	1,518人 (1,587)	9,457回 (9,826)	9,029時間 (9,324)
障害福祉サービス	707人 (729)	6,301回 (6,641)	8,766時間 (9,028)
措置等	138人(226)	267回(458)	263時間(498)
	合計	3,565人 (3,915)	30,457回 (32,901)
			33,884時間 (36,508)

②居宅介護支援事業

支援計画(ケアプラン)の作成			
区分	対象者	延人数	
介護保険サービス	要介護5	163人(159)	
	〃 4	288人(341)	
	〃 3	544人(520)	
	〃 2	983人(1,162)	
	〃 1	780人(806)	
	要支援2	340人(365)	
	〃 1	68人(47)	
介護予防・生活支援サービス	要支援1・2	257人(289)	
	事業対象者(区分未認定)	30人(27)	
要介護認定調査			56人(72)

【法人運営の状況】

事 項	開催日等	主 な 内 容
第91回理事会 (みなし決議)	6月4日	全理事から同意書、両監事から確認書受領 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の一部選任にかかる候補者の提案 ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定 ・顧問の選任 ・評議員選任・解任委員の選任 ・令和元年度事業報告・資金収支決算 ・諸規程の一部改正 ・令和2年度評議員会みなし決議(第1回)の開催
第7回評議員選任・ 解任委員会 (みなし決議)	6月8日	全委員から同意書受領 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の一部選任にかかる候補者の決定
第78回評議員会 (みなし決議)	6月29日	全評議員から同意書受領 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の一部選任 ・令和元年度事業報告・資金収支決算 ・諸規程の一部改正
第92回理事会	12月7日	出席者:理事12名 監事2名 顧問1名 <ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正 ・会長の職務執行状況(令和2年度上半期) ・第4次地域福祉活動計画進行状況 ・生活福祉資金貸付制度 特例貸付実施状況(研修) ・テーマ:コロナ禍における地域活動を考える ・講師:愛知淑徳大学准教授 黒川文子氏
第79回評議員会	12月7日	出席者:評議員35名、理事4名(会長、副会長2名、総括理事) 監事2名 顧問1名 <ul style="list-style-type: none"> ・第4次地域福祉活動計画進行状況 ・生活福祉資金貸付制度 特例貸付実施状況(研修) ・テーマ:コロナ禍における地域活動を考える ・講師:愛知淑徳大学准教授 黒川文子氏
第93回理事会	3月12日	出席者:理事14名 監事2名 顧問1名 <ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正 ・令和3年度事業計画・資金収支予算 ・令和3年度評議員会の招集 ・名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業にかかる契約の締結
第80回評議員会	3月12日	出席者:評議員33名 理事4名(会長、副会長2名、総括理事) 監事2名 顧問1名 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画・資金収支予算